

経営理念：利用者の「最善の利益」を図り、地域の福祉に貢献する。

支援方針：①子どもの人格・人権を尊重し、一人ひとりの思いを大切にします。

②子どもの発達とその子の特性に即した支援をします。

③子どもが安心して過ごせる生活の場（事業所）にします。

支援目標：じょうぶな身体（健康） たしかな考え（理性・認識） ゆたかな心（感性・情緒） よき仲間（協調性・社会性）



# 11号 蛭だより

2022年11月30日

発達支援事業所 蛭

文責 水流 美加子

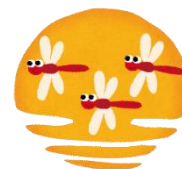
早いもので、今年も残すところ1ヵ月となりました。皆様にとってどのような1年だったでしょうか。やり残したことなどないでしょうか？来年に向けて、親子で話してみるのもいいかもしれませんね(\*^\_^\*)



## 児童発達支援の様子

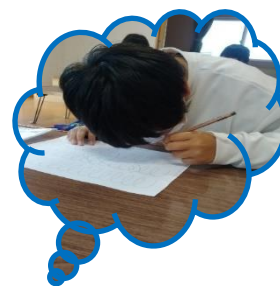
なにをやるにも良い季節(^\_^) 心地よい風に吹かれながら、秋を感じ、秋を見ることをめあてとし、外活動を中心に行なってきました！！きれいな秋空 ☁️子どもたちの足取りも心なしか軽い気が…！？(笑) 土手登りや原っぱで思う存分体を動かし、その中で、土手を上る際に手を置く場所や足を置く場所など、子どもたちから気付きが聞ける様、声掛けや関わりに気を付けながら活動をしました☆





## 放課後等デイサービスでの様子

毎年恒例！！(笑) 登山月間がやってまいりました(‘◇’)ゞ  
中には楽しみにしてくれている子どもも…(^^♪ が！！今年は天気恵まれず…(>\_<)  
現段階では、大浪池だけ行くことができます☆今年はルートを少し変え、大浪池の淵を一周し、途中からえびの高原へと抜ける道へ下山しました。時間差はありましたが、みんな達成することができ、自信へと繋がった子もいます。体力作りや体幹を鍛えることももちろんですが、ここでも季節を感じられる様、秋ならではの紅葉や澄んだ空に自然と目が行くように会話にも気を付けながら登山を楽しみました♪  
又、雨天時には、ともだちでの活動や体育館での活動を行い、それぞれ自分達で遊びを見つけて楽しむ姿が見受けられます。次から次へと発想を広げ、いろんな遊びを考え出す子どもたちには関心しっぱなしです(\*´艸`)



**苦情・相談解決制度** 当事業所の支援や処遇等に意見・要望がありましたら、ご遠慮なく申し出ててください。

**受付担当** 児童発達支援管理責任者 西村真奈美 解決責任者 管理者 西村真奈美

**第三者委員** 丸田瑞穂 (099-482-2927) 横峰友里子 (099-474-1851) 山口和美 (090-5473-5866)